

産学官連携推進セミナー ～中小企業の研究開発と事業化への挑戦～

14:05～
講演①

レーザ関連装置、溶接モニタリングの事業化経緯と今後の展開について

株式会社 NISHIHARA 代表取締役 中山 孝良 氏

14:45～
講演②

高い生産性と環境性を両立するオールサーボ駆動500t級プレス機の実用化について

株式会社吉野機械製作所 代表取締役社長 吉野 有信 氏

15:25～
講演③

千葉大学の地域・産学連携の取組み

国立大学法人千葉大学 学術研究・イノベーション推進機構
特任教授 知財・技術移転部長 渋谷 善弘 氏

日 時

令和4年

1月25日(火) 14時～

開催方法

オンライン視聴 (Zoom ウェビナー)

参加費

無料

申込方法

右の2次元バーコード又は下記サイトから
参加登録を行ってください。

<https://www.ccc-net.or.jp/link/semi0125.html>

※申込期限 令和4年1月21日(金)



お問合せ 公益財団法人千葉県産業振興センター
TEL:047-426-9200

講演サマリー

14:05～
講演①

レーザー関連装置、溶接モニタリングの事業化経緯と今後の展開について

株式会社 NISHIHARA 代表取締役 **中山 孝良** 氏

マイコンを中心に開発委託事業が主の事業だった当社（元 有限会社西原電子）が東葛テクノプラザの入居から国の助成事業（サポイン）の採択を機に自社製品づくりへと舵を切り、請負からメーカーへ主要事業を転換した。

産学連携による研究開発と現在のレーザー溶接を中心に、溶接のモニタリング事業を推進する当社の位置づけなどを説明しながら、レーザー関連商品を紹介する。

14:45～
講演②

高い生産性と環境性を両立するオールサーボ駆動500t級プレス機の実用化について

株式会社吉野機械製作所 代表取締役社長 **吉野 有信** 氏

プレスブレーキなどこれまで鍛圧機械の動力源に用いてきた油圧に代え、AC サーボモータを動力源にしたサーボ駆動プレスブレーキを世界市場に先行し、産学官連携と各種研究補助制度を活用して製品化を進めてきた。

今年、令和3年6月、経産省の「先端低炭素設備導入促進補償制度推進事業」の日本第1号案件に当社製品 YSP320t-40 プレスブレーキが採択された。

今後さらに、長尺ワークでも一度きりの加工回数で生産タクトの大幅短縮を実現でき、環境にも優しい加圧性能 500t,600t…800t 超大型プレス機を来るカーボンニュートラル社会を見すえて市場に投入しつつ、当社創業100周年の次世代に継承する。

15:25～
講演③

千葉大学の地域・産学連携の取組み

国立大学法人千葉大学 学術研究・イノベーション推進機構
特任教授 知財・技術移転部長 **渋谷 善弘** 氏

千葉大学は、学術研究・イノベーション推進機構（IMO）を中心に、産学連携の強化に取り組んでいる。また、県内唯一の国立総合大学として地域産業に一層貢献すべく、県内の中小企業との更なる連携も目指している。

今回は、千葉大学の地域・産学連携の取組みと、開放特許について紹介する。